

かがわ里海大学 2019

里海ガイドって何なん?!講座 開催しました!



- 日 時：2019年5月12日（日）10:00～15:00
- 会 場：交流の里おうごし（坂出市王越町）
- 講 師：森田 桂治 氏（NPO 法人アーキペラゴ理事）
- 修了者数：11名



実施内容

里海の魅力を伝える体験プログラムやツアーを企画・実践することが里海ガイドの役割。ボランティアガイドからステップアップしたい方や、里海ガイドの仕事に興味がある方に向けて「里海ガイド」の役割や技術にふれることができる講座を開催しました。

(1) 木沢海岸での磯観察・海ごみ調査・ビーチコーミング

坂出市王越町の木沢海岸で里海ガイドを体験。

岩場にて海岸生物調査シートをもとに、磯にくらす貝類や海藻を調査しました。生息する生物は、その海岸の環境の指標になっていることをガイドが説明。岩場は足元が悪いので、ガイドを行う際には参加者の安全管理が大切であることも学びました。



木沢海岸 岩場で磯観察



海岸生物調査シートを見ながら

砂浜に移動し、海ごみ調査とビーチコーミングを実践。

海ごみ調査は、国際海岸クリーンアップ（ICC）の分類方法に基づき行いました。分類することによって、海ごみが自分たちの暮らしから出ているという「気づき」につながることを学びました。



カキ養殖に使われるパイプが海ごみに



ICC の分類方法で海ごみを分類

また、里海ガイドは海辺で遊ぶ「楽しさ」を伝えることも大切。海岸には、シーグラスや美しい貝、海洋生物の骨など様々な漂着物が打ち上げられています。受講者は海ごみ調査をしながら、お気に入りの漂着物を探す「ビーチコーミング」も体験しました。調査後には、それぞれが発見した「お宝」を発表し合いました。



(2) 昼食休憩

昼食には、地元婦人会の皆さんが作ってくれた「ちらし寿司」と、イノシシ肉（試食）のバーベキューをいただきました。



(3) 里海プロガイド養成講座の紹介、修了生による活動事例の紹介

講師、修了生、受講者を交えた意見交換・発表

講師の森田桂治氏が、里海プロガイド養成講座の内容や里海ツアープログラム開発の手法、里海ガイドの活動の様子を紹介しました。

その後、里海プロガイド養成講座を修了し、ガイドとして活躍している谷光承氏、山田富士夫氏、岡加依子氏から、ガイドになろうと思ったきっかけや現在の活動の紹介がありました。平日はサラリーマン、休日にはガイドで収入を得ている修了生もおり、ガイドが「仕事」として成り立つという説明に、受講者は興味深く聞いていました。



森田氏による講座



修了生による活動の紹介